

平成30年度
健康福祉部 組織目標設定シート

組織の方針		今年度の目標設定	
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)
組織の基本方針又は使命	組織の課題のうち今年度取り組むものを優先順に	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段
子供から高齢者まで、誰もが生涯にわたって健康で安心して暮らせる地域社会を目指し、健康福祉部各課が課題としている事業や実施計画で計上されている事業等を確実に推進すること。	1. 各種計画の進捗管理	・各課で策定している計画について、着実に推進・実施が出来るよう、進捗確認を行う。	・地域福祉計画 ・障害者基本計画及び障害福祉計画、障害児福祉計画 ・子ども・子育て支援事業計画 ・高齢者保健福祉計画 ・健康増進計画、食育推進計画 各々の推進会議等で進捗確認を行う。
	2. 子育て世代包括支援センターの開設	・妊産婦及び乳幼児の保護者に対して、伴走型の予防的支援ができる環境を整え、切れ目のないワンストップ型の支援の強化を図る。	・ケアプラン票の作成等事務の整理 ・専任の相談員等人員体制の強化及び現行職員の対応力の向上 ・産婦健康診査事業の新設 ・既存事業の精度向上 ・市民目線でわかりやすい母子保健事業全体の整理
	3. 自殺対策計画の策定	・「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を図るため、自殺対策基本法第13条で定められた市町村自殺対策計画を、自殺総合対策大綱及び自殺対策計画策定ガイドラインを活用し策定する。	以下の手続きを行い、計画を策定する。 ・住民アンケート及びパブリックコメントの実施 ・障害者基本計画等策定委員会及び庁内推進会議、経営会議での審議 ・議会協議会での報告
	4. 地域包括ケアシステムの充実に向けた地域連携事業の充実	・高齢者が可能な限り住み慣れた地域で暮らしてもらえるよう「地域包括ケアシステム」の充実に向けた取り組みを行う	・協議体の設置 ・生活支援コーディネーターの充実 ・綴喜在宅医療推進会議を中心とした多職種連携の協議 ・医師会との検討会の開催

平成30年度
健康福祉部 組織目標設定シート

組織の方針		今年度の目標設定	
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)
組織の基本方針又は使命	組織の課題のうち今年度取り組むものを優先順に	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段
	5 債権管理・滞納整理方法の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護費返還金 ・生活困窮者貸付金 ・保育料 ・介護保険料 不納欠損処分の実施と処分に向けた手続きの推進。 債権管理の効率化に向けて、システム導入や改修を実施(返還金、貸付金)	<ul style="list-style-type: none"> ・返還金、貸付金 4月～9月資料収集、システム整備の予算措置 10月～3月システム導入～本稼働 ・滞納、不納欠損手続 4月～3月督促、所在不明債務者の戸籍調査等
	6. 重症化予防対策の構築	特定保健指導等の重症化予防への取組体制の構築及び実施	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症における重症化予防の取り組み体制の構築 ・特定保健指導の実施 ・がん検診における精密検査の未受診勧奨の実施
	7. 災害時の要配慮者に対する安全確保対策事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要配慮者避難支援対策事業実施地域の拡大 ・災害時要配慮者施設避難確保計画の策定推進 ・福祉避難所の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者避難支援名簿作成システムの導入 ・名簿作成取り組みについて新たな地域への働きかけ ・避難確保計画策定が必要な施設への説明訪問 ・市管理施設の計画策定 ・災害時のヘルパー派遣、ストマ装具提供の事前協定の締結